

# けんぽく

第8号[平成26年7月号]

県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する情報をお知らせします。



平成26年7月31日発行  
**「食」と「ふるさと」  
新生運動ニュース**

編集・発行 福島県県北農林事務所

## ◆「おいしい ふくしま いただきます！」 キャンペーン開催中！

県北農林事務所では、県産農林水産物の美味しさや安全性を県民の皆様に再認識していただき、県内消費の拡大、地産地消の推進を図るため、地域の特性をいかした消費拡大キャンペーンを展開しています。

平成26年7月19日（土）に、伊達みらい農業協同組合の直売所である、みらい百彩館「んめ〜ぺ」のオープ



オープニングイベントのテープカットの様子

ン5周年を記念した「みらいフェスタ」の一角をお借りして、第1回目のキャンペーンを実施しました。

朝からの小雨模様にもかかわらず、多くのお客様においでいただき、盛況のうちにキャンペーンを終えることができました。

次回は、福島市公設地方卸売市場協会



試食会場も賑わいました

に御協力いただき、福島市公設地方卸売市場開場記念イベントの一つである「市場の土曜感謝市」の会場をお借りして、8月に第2回目のキャンペーンを予定しています。

当日は、第1回目と同じくミスピーチキャンペーンクルーにもお手伝いいただく予定です。

福島のももや旬の県産農水産物の試食品を準備しておりますので、ぜひ、お出でいただき、「ふくしまの 安心・安全、新鮮、美味しい」をたくさん味わっていただければと思います。

## 「おいしい ふくしま いただきます！」 第2回キャンペーン

開催日時：平成26年8月23日（土）11：00～14：00

場所：福島市北矢野目字樋越1

福島市公設地方卸売市場  
(青果棟及び水産棟内他)



## 「市場の土曜感謝市」についてのお問い合わせ

福島市公設地方卸売市場まつり運営委員会

(電話 024-553-3431)

(企画部)

## ◆DATEC 主催！いちご狩りに消費者を招いての 交流イベント開催！

伊達地方の農業青年が組織するDATEC（会長：渋谷雅人さん）主催により、平成26年6月22日（日）に伊達市霊山町で、消費者との交流イベント「いちご狩り2014」が開催されました。

交流イベントは、DATEC設立当初の平成8年から毎年開催されています。過去には、もも狩りの企画もありましたが、近年は、会員のいちごハウスを開放し、親子連れの消費者にいちご狩りを楽しんでもらうという企画が行われています。

参加は有料ですが、いちごを食べ放題で提供するとともに、おみやげで持ち帰っていただいたり、地元の集会所を利用してパンケー



交流イベント開会式

キを自分で焼いて食べていただいたり、親子で、半日、十分に楽しんでもらえた内容でした。

企画の内容の良さから、口コミで評判が広まった結果、



パンケーキ作り

伊達市内だけでなく福島市内からも参加があり、参加者数は当初計画した以上で、70名を超えました。

今回の催しは、DATECの会員一人一人が、大震災からの復興を意識しながら取り組んだものです。消費者との直接の交流を通じて、地元農産物の安全性への消費者の信頼回復を感じ、また、復興に向けての確かな手応えを得る機会となりました。

(伊達農業普及所)

### ◆農林水産大臣、「ふくしま森林再生事業」の現地視察！

平成26年6月28日(土)、林方正農林水産大臣が、現在、「ふくしま森林再生事業」を実施している「小屋向県行造林地」(二本松市渋川)を訪れました。当事務所からは、佐藤森林林業部長と新津林業課長が立ち会いました。

林大臣は、県内の森林の汚染状況や森林整備の推移、「ふくしま森林再生事業」の概要や進捗等について、県庁 桃井森林整備課長から説明を受けた後、高性能林業機械



事業の説明を受ける林大臣

(プロセッサ一)による、枝払い・玉切りの作業状況等を視察されました。

また、県内の原木しいたけ生産の現状や、風評被害等について県庁 渡部林



原木しいたけの試食

業振興課主幹から説明を受け、炭火で焼いた原木しいたけを試食されました。滞在時間は20分程度でしたが、大変中身の濃い視察となりました。

当日は朝から曇りで、10時30分頃から雨が降り出し、大臣が現地に到着した11時頃には土砂降り状態となりましたが、原木しいたけを食べ終わり出発する頃には、すっかり雨は上がりました。

この日の天気のように、福島県の森林・林業の未来も「雨のち晴れ」となることを期待しています。

(森林林業部)

### ◆直売所向け野菜栽培研修会を開催！

平成26年7月2日(水)に、安達地方青年農業者クラブ(D"ATCH)会員や新規就農者を対象とした「直売所向け野菜栽培研修」を開催しました。

生産・販売とともに「野菜の品種力で直売所を元気にする」という目的で、野菜生産と品種のコーディネートを行っている鈴木農場・伊藤種苗店の鈴木光一氏を講師に招き、講義と農場見学を行いました。

講義では、「野菜のチカラで直売所の活性化」と題し、鈴木氏より野菜の品種選び、生産から販売までのコ



おすすめの秋冬野菜を教えてくださいました

ーディネート、今おすすめの秋冬野菜等について、お話していただきました。

中でも、野菜の付加価値をつくるための考え抜かれた品種選定や栽培法、収穫時期の話は、これからの農業を担い、農業をビジネスとして継続、発展させようとする青年農業者にとって大変興味深く、かつ有意義なものとなりました。

その後、春夏に約100品種、秋冬に約70品種の野菜の生産を行っている農場を見学し、大規模農場の省力化、栽培のポイント等を説明していただきました。

さっそく紹介していただいた種を購入している参加者もあり、農業に対する意欲の高まりを見せていました。



鈴木さんの話熱心に耳を傾ける参加者たち



今後、青年農業者の若い力で、安達地方の農業が、更に元気になっていくことを期待します。

(安達農業普及所)

### ◆「県北地方農薬適正使用推進会議」を開催！

平成 26 年 6 月 26 日（木）、新ふくしま農業協同組合本店の会議室にて、「平成 26 年度県北地方農薬適正使用推進会議」を開催しました。

この会議は管内の市町村や J A を始め、出荷組合や市場関係者、農薬販売店などの、関係機関・団体が構成員となって、農薬の適正使用を推進することを目的に、毎年開催しています。

今年度は「GAP（Good Agricultural Practice）の視点から農薬適正使用を考える」をテーマに GAP の推進と併せて協議を行いました。

会議では、農薬の適正使用を周知・徹底するための指導事項と、農薬に関連する問題が発生した場合の対応方法等について確認を行いました。

また、GAP について、「農業生産工程管理」の基礎的な内容や、県の GAP の推進方針、優良事例の紹介などを行いました。

意見交換では、各 J A 等から GAP の導入・活用状況についての事例発表があり、農薬の適正使用と GAP との関わり方等を確認する有意義な会議となりました。



関係機関・団体との意見交換



GAPIに関する説明

(農業振興普及部)

### ◆よみがえった旧宿場町を流れる渋川堀！

今回は、二本松市の渋川堀の水路改修について、御紹介します。

渋川堀は、受益地である二本松市二本柳の西方 5 km にある塩沢地内由井川から水を取り入れています。開削

されたのは、畠山氏が二本松城主として勢力を振るっていた戦国時代であろうと推定されています。当時は、二本柳集落の中央を流れており、その後、街道の両側に人家が建ち並び宿場に発達したといわれています。



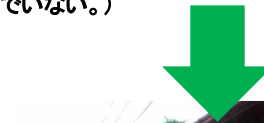
施行前  
(水路は用水の供給という本来の機能は果たしているが、旧宿場町の風景にはなじんでいない。)

二本柳の人々は、この堀を「前堀」と呼んで、自分たちの堀として大切に取扱いしてきました。

しかし、その後、道路改修工事に伴い前堀は姿を消し、道路側溝機能を兼ねたコンクリート製水路となり、堀を中心として形成されてきた街の風景は変容してしまいました。

このため、潤いのある水辺空間を創造し、景観の保全、住民の憩いの場の提供など、農業用水路の本来機能の改善と多面的機能の十分な発揮を図る目的で、平成 25 年度に、二本柳集落の水路改修を行ったものです。

(農村整備部)



施行後  
(旧宿場町の風景になじんでいる)

### ◆「県産食材利用推進キャラバン」を実施！

平成 26 年度 7 月中旬に、「県産食材利用推進キャラバン」を実施しました。

これは、「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」における風評払拭・消費拡大運動の一環として行ったものです。



全農福島から提供された県北産の農産物

キャラバンでは、県北管内の給食施設を設置している製造業者等を訪問し、県産農林水産物の安全確保に関する取組について説明させていただくとともに、県産農林水産物の現在の利用状



福島産の農産物は、おいしい！

況や課題などについて、聞き取りを行いました。

また、全国農業協同組合連合会福島県本部福島営農事業所から提供された県北産の米（天のつぶ）、きゅうり、ミニトマト、ももを訪問した企業の社員食堂で、実際に利用していただき、社員の方に試食してもらいました。

試食した社員の皆様からは、「新鮮！」「とてもおいしい！」との声が多く聞かれました。

今回のキャラバンが、県産農産物の利用拡大の一助となればと思います。

（企画部）

## 【お知らせ】にしねせき ずいどう 西根堰の隧道探検についてのご案内



水とともに栄える西根郷の隧道を探検して水の大切さを肌身で感じ取っていただくため、隧道探検を行います。大人の人は童心に戻って、子供の人はそのまま、ぜひ、参加しませんか。待ってますよ・・・！！

- |           |   |
|-----------|---|
| 1 日 時     | 平成 26 年 8 月 22 日 (金) 午前 9 時 ~ 12 時 30 分   |
| 2 集 合 場 所 | 国見町役場駐車場(観月台文化センター) 8 時 20 分<br>水土里ネット西根堰 8 時 30 分<br>西根神社駐車場 8 時 50 分  |
| 3 問い合わせ先  | 水土里ネット西根堰(伊達西根堰土地改良区)<br>〒969-1607 桑折町字西段19番地<br>TEL 024-582-2319 FAX 024-582-4756<br>E-mail : nishineseki@bz01.plala.or.jp<br>※詳細・申込書は <a href="http://sky.geocities.jp/datenishine/">http://sky.geocities.jp/datenishine/</a> |

真夏でも、隧道の中は  
寒いくらいだよ

そうだね



### ■西根堰の概要

現在、福島市北部から伊達郡桑折町と国見町を経て伊達市に至る農業用水路が設置されていますが、これを「西根堰」と言います。

西根堰(用水路)は、元和4年(1618年)に米沢藩主上杉景勝の家来であった佐藤新右衛門家忠により下堰が開かれ、寛永元年(1624年)から翌寛永2年(寛永9年との説もあります。)にかけて佐藤新右衛門家忠と古川善衛重吉により、上堰が開かれたのが始まりです。

この西根堰により、福島盆地の北部及び阿武隈西岸に広がる西根郷は開拓が進み、地域の人達に豊かな実りをもたらしました。

その後、幾度かの改修工事も行われましたが、現在でも2市2町(福島市、伊達市、桑折町及び国見町)の農地 1,396ha に必要な水を供給し潤しています。

また、今回、集合場所の一つとなっている西根神社は、西根堰の開削に貢献した佐藤新右衛門家忠と古川善衛重吉の偉業を称えて明治 20 年(1887 年)に創立された神社です。



## ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動県北地方推進本部の構成員紹介コーナー

### みちのく安達農業協同組合



#### 【組織員紹介】

みちのく安達農業協同組合は、二本松市・本宮市・大玉村の2市1村を管内とし総合的な事業を行うJAです。管内には、本店と8支店、7グリーンセンター、2農機センターの施設があり、安全な農産物の生産など、農業関係はもちろん、組合員をはじめとする利用者・地域住民のお役に立てるよう幅広い取り組みを実施しています。

#### 【活動内容】

農家の苦労や喜びにふれ、毎日の「食」と「農」のつながりを子供たちに実感してもらうため、当JAでは「ちびっこ農業大学」を開講し、さまざまな体験（収穫や料理等）を通じて、食べ物や農業の大切さを学んでもらったり、稲作部会や農青連、女性部などの協力のもと「田植えツアー」を企画して、東京都内の子供たちに田植えを体験してもらう取り組みなど実施しています。

また、「田んぼと畑の勉強会」を開催し、安達農業普及所の講演や肥料・農薬メーカーの商品説明など、良品農産物を育てるために、農家組合員が集まって勉強会を実施しています。

#### 【特にPRしたいこと】

当JA直営の農産物直売所「こらんしょ市」（二本松店・本宮店）は、地産地消の拠点として、地元農家の皆さんが愛情込めて育てた、新鮮で安全な旬の農産物や、昔ながらの漬物など、多数の農産加工品を取り扱いしております。

また、当直売所の安全対策への取り組みとして、農産物の出荷前に栽培管理日誌をトレースナビ生産支援システムで読込管理し、あわせて放射性物質検査用の検体を提出してもらい、安全性が確認できたものを販売しています。

店舗は、いつも消費者と生産者の笑い声であふれており、生産者と消費者の交流の場・地域活性の場として今後も運営していきますので、皆様のご来店心よりお待ちしております。



こらんしょ市二本松店の外観



親子で田植に挑戦



田植前の昼食風景



こらんしょ市店舗内の様子



ちびっこ農大サクランボ収穫体験



田んぼと畑の勉強会講演風景



皆様からの御意見・御要望など 様々な情報をお待ちしております。

福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-535-0382

FAX 024-536-9590

電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp



ふくしまから  
はじめよう。